

令和8年度都立芦花高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」の指導の充実 ・「書くこと」の指導の充実 ・「読むこと」の指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアワークなどでお互いの意見や感想を述べ合う。 ・單元ごとに内容や構成、論理の展開、筆者の主張などについての的確に捉えながら要約文を書く。 ・読むために必要な決まりや古典特有の表現など基礎基本の学習を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス内での発表や聞くことを通して、自らの考えを深める。 ・自分の考えが読み手に伝わるように意見文などを書く。 ・学習課題に自ら積極的に取り組み、作品に込められた作者の思いを読み取る。
地理歴史	「探究の過程」を踏まえた学習活動の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入学共通テストの問題分析会の実施 ・共通テストの分析結果に基づいた授業改善の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学模擬授業等において、探究の方法や考察のまとめ方について学習 ・「探究の過程」を踏まえた授業についての相互参観を実施
公民	「探究の過程」を踏まえた学習活動の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入学共通テストの問題分析会の実施 ・共通テストの分析結果に基づいた授業改善の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学模擬授業等において、探究の方法や考察のまとめ方について学習 ・「探究の過程」を踏まえた授業についての相互参観を実施
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し粘り強く考える態度 ・数学的に表現・処理する技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを有効活用し、生徒が自ら考え問題に取り組むことを重視する。 ・問題解決の過程を大切にし、論理的に考察する活動を重視した授業を実施する。 ・習熟度別クラスにすることによって、生徒の実態に合った指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアワークを取り入れたり、解答を発表する場を設けるなど、考え方の過程を振り返って考察を深める場面を多くする。また、振り返り課題を授業内で実施し節ごとの重要事項を確認する。
理科	「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・実験・観察による学習を通して、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などを考えさせる授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「探究の過程」を踏まえた授業の相互参観を実施 ・大学入学共通テスト模擬試験の問題分析ならびにその結果分析会を実施
体育	健康についての自他や社会の課題を発見し、他者に伝える力を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見できる問いかけの設定、合理的、計画的な解決に向けて、調べてまとめる。パワーポイントによる作成学習及びグループ発表	クラスノートブック・ワンノート・カフート・動画作成などを用いてICT活用を中心に、周囲に発表・共有し、他己評価を実施する。
保健	身体の使い方を理解し、体力・運動能力・持久力・巧緻性の向上を目指す。	授業毎に体操にプラスして補強運動を実施する。各種目にて基礎技能の習得を目指す。エンジョイスポーツプログラムの活用	習得した技能を用いてその競技の特性に合った楽しさを見出す。主体的にゲームを実施する。専門家の技術を学ぶ
英語	『会話』『読解』指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末、ICTの有効活用 ・習熟度別クラスの最大限の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・英単語学習ソフトの導入により自ら学習し小テスト等で自分の学習状況をチェックできるようにする。 ・ALTやJETの活用により、ペアワーク、グループワークを多く授業に取り入れ簡単なプレゼンテーションやパフォーマンステストを実施する。
家庭	「実験・実習」を重点課題とし、「体験」による主体的な学びの充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・教科内で連携しながら「実験・実習」や「体験」学習を効果的に取り入れ、生徒が生活を主体的に営むのに必要な基礎的・基本的な理論をできるだけ実践的に理解し、関係する技能を身に付けることを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末の利用で生徒達身の意見を反映させ、視覚化することで主体的な学びと他者理解につながる。 ・実験・実習では自己の役割意識と協働作業の大切さへの気づきを目指す。 ・近隣の保育施設や専門団体、有識者との連携を図り生徒の深い学びにつなげる。
情報	情報社会に主体的に参画するための資質・能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・図解を多く取り入れた教科書の選定 ・知識を定着させるための実習課題を含む教材の開発 ・協働学習による実習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミングイベントや民間コンテストへの参加 ・情報系資格試験の受験 ・大学入学共通テストの試作問題および対策問題を取り入れた授業の実施